

UHF帯RFIDタグによるワイン管理

レストランのワインセラーで常時2000本以上のワインを保管していますが、注文時に目的のワインを探すことに時間がかかったり、出庫記録漏れなどで、データ上ではあるはずのワインが無いことが頻繁にあったり、棚卸に時間がかかったりなどの問題をRFIDの導入で解決することができました。



導入前の課題



1 ワイン探索

同じ銘柄の生産年違いなど、似た物が多く、探し出しに時間がかかる。



2 出庫記録漏れ

レストラン繁忙時にワインの注文が入るなど、記録漏れが多い。



3 棚卸

近年、会計監査時に資産計上漏れなど厳しく指摘されるが、棚卸に時間がかかる。

ICタグで解決!

導入の効果



1 ワイン探索

RFIDリーダーの探索機能で目的のワインを短時間で探し出せるようになった。



2 出庫記録

注文などでワインを出庫するときにワインについてのRFIDタグを読み取って出庫することで短時間で記録ができ記録漏れがなくなった。



3 棚卸

RFIDリーダーでワインセラーのワインを一括読み取りすることで棚卸時間を大幅に短縮できた。

RFIDワイン管理 運用概要

ネッカータグ

ネッカータイプのタグにして、
ワインボトルのネックに掛ける。
ICタグのデータを書き直して
再利用する。

1 ワイン入庫時登録



ワイン名、生産年、金額、入庫日など
必要事項を入力して、RFIDタグに
管理用ID エンコードをして、
新規登録します。

2 ワイン棚卸



ハンディターミナルにサーバーから
ワイン在庫リストを取り込み、保管している
ワインを一括で読み取ります。

3 ワイン探索



ハンディターミナルにワイン名、
生産年などを入力して探索します。

4 ワイン出庫



注文のワインを出庫するときに
ネッカータグを読み取り、
出庫記録をします。



出庫したワインのタグは取り外して
再エンコードすることにより、
何度も再利用が可能です。